

## 指定管理者評価シート

## 一 管理運営の状況

1	施設名	仙台市原町児童館
2	指定管理者	特定非営利活動法人MIYAGI子どもネットワーク
3	指定期間	平成29年4月1日から令和4年3月31日まで
4	施設の利用状況	<p>《利用者数》 50,638人（前年度比 87%）  うち のびすく宮城野利用者 25,415人  （内訳 ひろば利用者23,750人、託児利用者 1,665人）※視察等の来館者 372人  平成30年度58,142人 平成29年度 55,715人 平成28年度 55,344人</p> <p>《事業》  児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とした児童厚生施設としての事業</p>
5	収支の状況	<p>《費用》  （ ）は前年度決算額</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>指定管理者に支払った費用 60,729千円 （ 59,103千円）</li> <li>その他市が負担した費用 0千円 （ 0千円）</li> </ul> <p>《収入》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>使用料収入 4,031千円 （4,349千円）</li> <li>その他収入 60千円 （66千円）</li> </ul>
6	利用者の声	<p>《実施状況》  利用者アンケート，地域運営懇談会（児童館・のびすく宮城野），児童クラブ保護者懇談会を実施。</p>

## 二 管理運営に係る評価

(モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野	所見	評価
I 総則	「児童館ガイドライン」等に基づき、設置目的を踏まえた施設運営上の基本方針を定め、職員への共通理解を図るとともに、館内掲示等で利用者にも周知している。職員の倫理保持・服務規律遵守については、研修や会議で確認する取り組みを行っている。また、地域の特性やニーズを踏まえながら各事業に取り組み、施設目的の達成に努めている。	33/33
II 施設の運営管理体制	職員の配置や業務内容の共有、開館の実績、経理書類の作成、個人情報の保護等について適切な管理体制が構築されている。また、各種マニュアルの整備、施設内外の点検、毎月の避難訓練等の実施により、利用者の安全に留意した運営に取り組んでいる。	30/30
III 施設・設備の維持管理	日常的・定期的な点検や清掃により、建物・設備・外構等が適切に維持管理されている。備品や鍵の管理も適切に行われているほか、施設内外の巡回や仙台市環境行動計画に則った取り組みも実施されており、安全で快適な環境が保たれている。今年度より、環境への配慮の一環として、利用者の中で使わなくなったものの譲り合い活動を行った。	23/23
IV サービスの質の向上	名札の着用、児童館だよりの発行、ホームページの更新による利用情報の提供等、利用者が利用しやすい環境づくりに努めている。また、各種研修会への参加を通して職員の専門性を高めているほか、意見箱の設置、アンケートの実施等で利用者のニーズを把握し、施設運営に生かすなど、サービスの質の向上に努めている。	28/28
V 施設固有の基準	複合施設であり、また、区役所に隣接しているという地域特性を活かし、地域の関係機関や施設、諸団体等と連携しながら児童館及びのびすくの運営を行い、児童の健全育成や子育て家庭支援の拠点として、双方の事業の充実を図っている。児童クラブにおいては、学校等の関係機関と連携しながら、個別に支援が必要な児童に対しても細やかな支援を行った。	23/23

### 三 評価総括

《指定管理者（特定非営利活動法人MIYAGI子どもネットワーク）による自己評価》
<p>のびすく併設館として、多世代の利用者が安心安全に過ごせる環境と年齢、世代に合わせた行事や遊びの工夫等利用者ニーズに応えることで利用者の満足度も高く事業の充実につながった。児童クラブ事業として「飛び出せ児童館」は、児童の社会体験の機会として地域の方や民生委員等のグランパグランマボランティア、子育て支援クラブ等の協力を頂き、他館交流や公共施設見学を実施し、地域世代間交流と活動の充実に繋がった。また登録児童拡大に伴い、本館・サテライト室の施設環境に合わせ、遊びや行事、活動の工夫、差のないクラブ運営に努めたことで保護者アンケート回収率や評価も高かった。中高生参画として、部活動との連携や高学年との交流促進、地域貢献の機会として積極的に受入れることで気軽な居場所として定着している。のびすくは、宮城野区の地域子育て支援拠点としての役割を意識し、子育て家庭の多様なニーズに応えるため、新事業や相談事業に力を入れた。児童発達支援センターと連携して行った「すまいるサロン」は、子育てに困難や不安を抱える親に寄り添う子育て、子育て支援としての取り組みと、妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援として「プレババママ」等主体的な事業に取り組んできた。更に内容が多岐にわたる相談事業は、様々な関係機関との連携と情報共有に努め、利用者専門員だけでなく託児やひろばに関わる職員全員が情報を共有連携して対応を行った。当該館の強みは併設館ならではの、のびすくから児童館へと継続的な子育て支援ができることや地域関係機関との協力体制連携の深さであり、年度末「新型コロナウイルス感染症拡大防止」に伴う当館支援活動の際にも協力を頂き、地域関係機関との構築の深さを実感することとなった。最後に、児童館のびすく共に「Rサイクル」と称し、不要になった方から必要な方への「譲り合いRサイクル」は、子育て世代の気持ちに合い次年度も継続していきたい。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>児童健全育成事業においては、発達段階に応じたサービスの提供や支援を強く意識しながら事業を展開した。特に中高生の地域参画を意識し、部活動の発表の場の提供や小学生との交流事業を通して、地域貢献の意識を育むための取り組みを行った点が評価できる。</p> <p>児童クラブ事業においては、社会体験活動として「飛び出せ児童館」の充実を図る等、実施している事業をより発展させる試みに加え、児童館本館とサテライト室の位置関係や施設環境を踏まえ、日頃から、利用児童の保護者とも密にコミュニケーションを取りながら、活動内容に工夫を凝らした児童クラブ運営に努めており、利用者アンケートでも高い評価を得ている。</p> <p>のびすく宮城野としても、乳幼児の発達段階に応じたイベントの実施や、平成30年度から受託を開始した子育て支援専門相談事業と連携した相談事業の充実を図ることにより、乳幼児親子の交流できる場の提供や子育て家庭の不安や負担の軽減に大きく貢献している。</p> <p>本市内唯一の児童館とのびすくの併設施設として、その特性を十分に生かし、近隣の施設や地域の関係機関との連携を深めながら、妊娠期から子育て期までの保護者への切れ目のない支援と、乳幼児期から児童期までの子どもの育ちを支えている。</p>	S

### 四 その他特記事項

（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取り組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課（施設所管課）：子供未来局子供育成部児童クラブ事業推進課